

一般質問

教育次長 感情をコントロールする、他者と関わる意欲や情緒的な面を育むことを大切にしている。

教育次長 感情をコントロールする、他者と関わる意欲や情緒的な面を育むことを大切にしている。

副市長 今は推定の域での調査なので、これ以上の踏み込み、深堀りは、我々に監督権限があればできるが、権限がなくてできないと認識している。

森上 言葉による意思疎通の困難な若者同士のトラブルや不登校、さらには自らの行為に対する無自覚といったものが指摘されているが、

森上 言葉による意思疎通の困難な若者同士のトラブルや不登校、さらには自らの行為に対する無自覚といったものが指摘されているが、

市民生活部長 当該施設は、管理監督指導の権限は県にあり、市内にある施設で、当該法人の理解、協力により確認している。

森上 実際に汚染があるので、これは西山犬舎から来ているかどうかは分からないが、その原因を特定すべきではないか。



国語教育の重要性とその現状について問う

西山犬舎の環境負荷に対する対策

森上 昌生 議員



環境負荷対策について本気でやる気があるのか

一般質問

ココを聞きました!

- 石部 誠**
 - インボイス制度について
 - 市民生活支援のための「市民アンケート」について
 - 学校給食の無償化について
 - 補聴器購入助成について
- 森上昌生**
 - 国語教育について
 - 高梁市の観光施策について
 - ピースワンコ・ジャパン西山犬舎について
- 小林重樹**
 - 令和5年度予算編成について
 - 高梁市医療計画について
- 石井聡美**
 - 市のDX推進について
 - 観光施策について
 - 中学校の校則について
- 森 和之**
 - 市街地における防災組織について
 - 高梁川における鶴の被害について
 - 市民のボランティア活動について
 - 公園の管理とスポーツについて
 - 防草シートについて
- 川上博司**
 - 出産・子育て応援交付金事業について
 - 国民健康保険の高額療養費支給申請について

- 金尾恭士**
 - 教育等について
 - 備中神楽の国連教育科学文化機関（ユネスコ）無形文化遺産登録について
 - コロナ禍における高梁市の経済状況等の把握について
 - 高梁市総合計画の進捗状況と評価について
 - むし歯予防のための児童のフッ素洗口、乳幼児のフッ素塗布について
 - 川上町高山市地区住民の「井原市予約型乗合タクシー」の利用について
 - 川上町仁賀地区旧養鶏場施設の適切な処理と環境対策について
- 平松久幸**
 - 市内県立高校の現状について
 - ゼロカーボンシティ宣言後の本市の取組について
 - 職員の意識改革について
 - 地域モビリティについて
- 伊藤泰樹**
 - 防犯灯について
 - 学校給食について
 - 経済活動について
 - 病気療養者支援について
 - 住宅建築支援について
- 倉野嗣雄**
 - 行財政改革について
 - 農業施策について
 - 地域振興基金について
 - 定住対策について
- 新倉 淳**
 - 消防業務について
 - 新消防庁舎について

消防長 高梁市管内の広範囲への救急出動のため時間はかかっている。救急車の到着は全国平均で8分7分、高梁市は12分5分である。医療機関への搬送時間は、全国平均39分5分、高梁市は50分2分である。

小林 令和3年度の高梁市内の救急車出動件数は、どういう状況だったのか。

消防長 救急出動件数18200件、救急搬送1748件、管内医療機関への搬送1106名、管外医療機関搬送198名、夜間143名（17時～翌朝8時30分）、土日祝日の搬送は7名（内夜間6名）となっている。

小林 24時間365日市民に安心を届けるための課題は無いのか。



救急搬送について

小林 重樹 議員



市民に安心を届ける救急体制を問う!

市長 関係機関の協議の場での議論をもとに必要な予算措置を検討している。

市長 総合診療医の育成、必要性を強く感じている。現場の医療機関の意見を踏まえて、医師会、保健所、消防等関係機関との協議の場を設けることから進めていきたいと考えている。

小林 休日夜間救急センターの取り組みについて研究・調査費として次年度の予算に組み入れてはどうか。

小林 休日夜間救急センターの体制構築について、計画・必要性をどのように感じているのか。

市長 総合診療医の育成、必要性を強く感じている。現場の医療機関の意見を踏まえて、医師会、保健所、消防等関係機関との協議の場を設けることから進めていきたいと考えている。

石部 過去に行っていた町内会支援制度は、支援金を出すこともだが、総会等で町内や地域のことを考える機会にもなり、いい制度だと思ふ。続けていくことが必要ではないか。今後の対応は。

市民生活部長 振り返り奨励金は町内会の振り返りのきっかけづくり、機運の醸成のために行ったものであり、一回のみの支援制度

町内会支援制度と評価について

石部 過去に行っていた町内会支援制度は、支援金を出すこともだが、総会等で町内や地域のことを考える機会にもなり、いい制度だと思ふ。続けていくことが必要ではないか。今後の対応は。

インボイス制度について

石部 インボイス制度の導入に当たり、中小企業や個人事業主、農家など地域経済に及ぼす影響は大きいと考えるが、市の対応は。産業経済部長 消費税は国の制度であり、専門的な相談、アドバイスは税務署や商工団体を案内している。

学校給食の無償化について

石部 全国的にも給食の無償化は広がっているが、高梁市でも行えないか。

副市長 基本的には給食費は保護者に負担を求めます。それぞれの自治体の財政状況などもある。

補聴器購入助成について

石部 高齢者の認知機能の予防のため、また若年性難聴者のため、補聴器購入の助成をしてほしい。

健康福祉部長 国の難聴に対する支援や方向性の下、市としても支援の範囲や必要性を研究したい。

市民生活部長 市役所の各部署が皆さんからの要望や意見をいただいている。懇談会等も行っており現状ではアンケートの想定はしていない。

石部 市民アンケートを行い、地域や市民生活を知ってほしい。

石部 誠議員



高梁市議会 YouTube 公式チャンネル